

体罰等によらない子育ての工夫のポイント

体罰等とはよくないと分かっているにもかかわらず、それが難しいと感じられることもあります。一方で、安心感や信頼感、温かな関係が心地よいのは、子どもも大人も同じです。子どもとの関わり方の一例を紹介します。

POINT 01

子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう

- 相手に自分の気持ちや考えを受け止めてもらえたという体験によって、子どもは、気持ちが落ち着いたり、大切にされていると感じたりします。
- 子どもに問いかけをしたり、相談をしながら、どうしたらよいかを一緒に考えましょう。



POINT 02

「言うことを聞かない」にもいろいろあります

- 保護者の気をひきたい、子どもなりに考えがある、言われていることを子どもが理解できていない、体調が悪いなど、さまざまです。
- 「イヤだ」というのは、子どもの気持ちです。こうした感情を持つこと自体はいけないことではありません。重要なことでない場合、今はそれ以上やり合わない・・・というのも一つです。

POINT 03

子どもの成長・発達異なることがあります

- 子どもの年齢や成長・発達によって、できることとできないことがあります。また、大人に言われても理解できないこともあります。
- 子ども自身が困難を抱えている場合は、それに応じたケアを考案しましょう。

POINT 04

子どもの状況に応じた身の周りの環境を整えよう



保護者自身のポイント

- 否定的な感情が生じたとき、自分自身の体調の悪化などが関係しているのかを